

生ごみ・下水汚泥によるメタン発酵の実証実験

この度、湖西市は株式会社豊橋バイオマスソリューションズと連携し、カーボンニュートラルの取組として、市内企業の協力のもと、廃棄される生ごみや下水汚泥からバイオガスおよびバイオ液肥を創出する実証実験を開始しました。

◆概要

市内事業所(トヨタバッテリー株式会社)の社員食堂から排出される食品廃棄物と、湖西浄化センターの下水汚泥を用いてメタン発酵を行い、「バイオガス」や「バイオ液肥」を製造し、資源の有効活用の可能性を検証します。

また、食品廃棄物を植物由来のバイオプラスチック袋で回収し、そのままメタン発酵させることによる生分解の状況や発酵への影響、作業効率などについても併せて検証します。



◆主な内容

- ・食品廃棄物・下水汚泥による有機物分解速度およびバイオガス発生量などの検証
- ・バイオプラスチック袋※の発酵および分解状況の検証
- ・バイオ液肥性状への影響検証 など

※ 株式会社カネカ製：GreenPlanet®（100%植物由来のポリマー素材）

◆実施期間 令和7年6月1日～7月30日の2カ月間

◆実施場所 湖西浄化センター内

《メディアの方へ》

- 取材をお願いします。
- 事前告知をお願いします。
- 情報提供をします。

《発表種別》

- 記者会見発表資料
- 記者会見情報提供資料
- 随時

《問い合わせ先》

所属名 上下水道課
連絡先 053-574-2211
担当者 村松・酒井